

広報

# しんじょう

9  
2005

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.573



新庄まつり250年祭 (8月24日~27日)

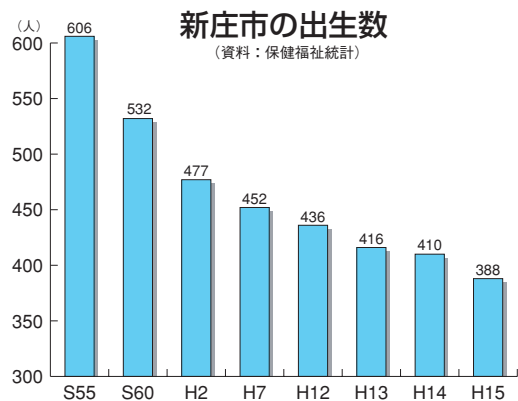
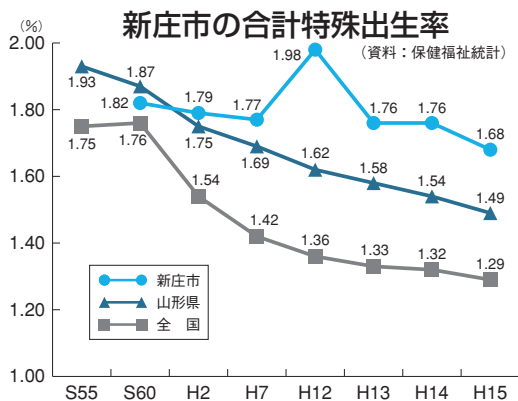
- 子育てを応援します .....2
- まちづくり会議 .....6
- 公益の担い手 .....8
- 熱く燃えた夏 .....10
- 新庄市芸術祭 .....12
- 江戸だより／いきいき新庄人 .....13
- しんじょう見聞録 .....14
- 9月のお知らせ .....16
- 将来を見ずえた人づくり .....18



新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>  
E-mail [info@city.shinjo.yamagata.jp](mailto:info@city.shinjo.yamagata.jp)

# あなたの子育てを 応援します



## 子どもが減っています

新庄市で子どもが生まれる数は、昭和五十五年から平成十五年までの間で約三十六%減少しました。一人の女性が十五歳から四十九歳までに生む子どもの平均人数である合計特殊出生率は一・六八(平成十五年)。全国平均の一・二九、県の一・四九より高い数字ですが、人口を維持できるのは二・〇七とされており、これを下回ると少子化が進んでいるといわれています。子どもが減る原因はいろいろ考えられますが、「未婚化」「晩婚化」に加え、「夫婦の間に生まれる子どもの数の減少」も新たな傾向として明らかになっています。

## 子育てをめぐる状況も変化しています

また、核家族化や、離婚などによる一人親家庭の増加、地域社会における連帯意識の希薄化などにより、子育てに精神的負担や悩みを感じ、孤立感を抱いている人も少なくありません。だれにも相談できずに、閉じこもりや養育放棄に進んでしまう場合もあります。最近では、子育てに対する意識の

# 新庄市次世代育成 支援対策行動計画

## 【基本理念】

「子育てにあたるすべての家庭が、子どもを持ち育てることに喜びや大きな価値を感じることができるまち」

## 【子育て支援の基本施策】

- 地域における子育ての支援
- 母性ならびに乳児および幼児などの健康の確保および増進
- 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
- 子育てを支援する生活環境の整備
- 職業生活と家庭生活との両立の推進
- 子どもなどの安全の確保
- 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進



# 子育てニーズ調査の結果から

※( )内は(就学前児童・小学校児童)

※複数回答のため合計は100%になりません

## 子育てに関して悩んでいること・気になることは？

- 子どもをしかりすぎているように感じる(35%・37%)
- 子どもとの時間がとれない(30%・34%)
- 子どもの教育について(29%・41%)
- 病気や発育・発達について(34%・20%)
- 食事や栄養について(32%・19%)

## 仕事と子育てを両立させるうえで大変なことは？

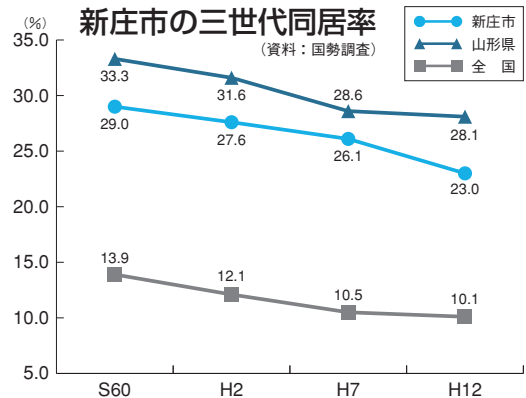
- 子どもとの時間が少ない(36%・29%)
- 急な残業(27%・22%)
- 病気などのとき面倒をみる人(26%・23%)

## 子育てに関する悩みの相談相手は？

- 配偶者・パートナー(78%・72%)
- 配偶者以外の親族(71%・58%)
- 隣近所の人・知人・友人(29%・48%)
- 保育士・先生など(25%・22%)

## 充実してほしい子育て支援施策は？

- 保育所などの費用負担の軽減(75%・38%)
- 子連れで楽しむ場の増設(68%・53%)
- 医療機関の体制整備(46%・41%)



## 総合的に子育て支援

このような少子化が社会・経済全体に深刻な影響を及ぼすことが心配される中、国・地方公共団体・企業などが一体となって、十年間にわたり集中的・計画的な少子化対策の取り組みを推進していくため、「次世代育成支援対策推進法」が平成十五年に制定されました。

これを受け市は今年、「次世代育成支援対策行動計画」を策定しました。子育てにあたるすべての家庭が、子どもを持ち育てることに喜びや大きな価値を感じることができるように、総合的な施策の推進に取り組んでいます。

多様化や、共働き家庭の一般化、三世帯同居の減少などにより、子育てニーズも多様化しています。昨年、就学前児童と小学校児童の保護者二千七百八十人を対象に市が実施した「次世代育成支援に関するニーズ調査」では、子育てについて不安や負担感を感じている人が半数以上で、「子どもとの時間がとれない」「子どもの教育について悩んでいる」「子連れで楽しむ場を増やしてほしい」などの意見がありました。

# 子育て支援のための各種制度

## 保育サービス

市では、保育需要の多様化に対応するため、通常保育に加え、次の保育事業を実施しています。

### ○延長保育

朝は午前7時30分から、夕方は午後4時30分から6時50分の時間帯において、保護者の仕事の事情に対応した保育の受け入れを行っています。

### ○乳児保育

働きながら子育てする保護者を支援するため、8カ月から1歳未満の乳児を対象として、保育所の対応可能な範囲で乳児保育の受け入れを行っています。

### ○一時保育

保護者の急な用事、冠婚葬祭、病気による入院など、やむを得ない事情に対応して一時保育の受け入れを行っています。

### ○障害児保育

身体などに障害のある児童には、専任の保育士が保育対応を行っています。

### ○休日保育

平成16年4月に新設した民間立保育所「パリス保育園」において、休日の保育を行っています。

## 子育てサークル

地域の親子が集まり、遊び、活動しながら情報交換や交流を楽しむ子育てサークル。現在市内には9団体のサークルがあります。このほかにも、読み聞かせや舞台観賞、託児など、親子を対象に活動している団体も6団体あります。

子育てサークルは、遠足・行事を楽しんだり、絵本の読み聞かせを主体に活動したりしているところなど、さまざま。活動内容や雰囲気に合わせて、自分にあったところを選ぶのがポイントです。

◎詳しくは、子育て支援センターへ。☎22-5115

## 子育て支援の制度

### ○児童手当の支給

児童を養育する保護者などに、児童が小学校3学年を修了する月まで児童手当を支給しています。

### ○児童扶養手当

母子家庭など、父と生計を同じくしていない児童が養育される家庭の生活と自立の促進を支援するため、母または養育する方に児童扶養手当を支給しています。

### ○特別児童扶養手当

精神または身体に障害を有する20歳未満児童等の福祉増進を図るため、障害児を扶養する父母または養育する方に特別児童扶養手当を支給しています。

### ○認可外保育施設運営費等補助

新庄市には認可外保育所が12カ所あります（うち市の認証保育所は現在9カ所）。それぞれ、仕事やその他の事情で子どもを保育することができない方をサポートしています。市は入所児童の健全育成を支援するため、施設の運営費などに対して補助しています。

## 子育て通信「めごめご」

子育て支援センターでは、子育てについての話題を満載して年6回発行しています（随時）。どうぞご覧ください。市の各施設やゆめりあなどで配布しています。



## 悩まず気軽に相談を

楽しい子育ても、初めてで慣れないことや、子どもの発育のこと、成長に合わせた育児の方法など迷うことはたくさんあります。そんなとき一人で悩まず、いろいろな人に相談してみてもいいでしょう。家族や近所の人など親の世代は子育ての知恵を持っています。

また、核家族が進んでいる現代では、同世代での情報交換も必要です。市内にいくつかある子育てサークルや子育て支援センターがある「わらすこ広場」では、お母さんたちの情報交換と語らいの場となっているようです。

## 子どもを育む社会に

市は、次代を担う子どもたちが健やかに育つよう地域ぐるみで子育てを支えるまちづくりを目指しています。

子育ての最も基本的な場は家庭ですが、その周りに地域があり、社会があります。隣近所や企業・団体、関係機関など社会全体で、「次世代を担う地域社会の宝」である子どもたちを育んでいく意識が今、求められています。

# 子育て支援の施設

## ○子育て支援センター

保育士が子育ての悩みなどについて相談指導を行っています。  
※本町4-33 新庄ショッピングビル4階わらすこ広場内  
☎22-5115

## ○わらすこ広場

0歳から小学校3年生くらいまでの児童とその保護者を対象にした屋内型遊び場です。雨や雪のときでも遊ぶことができ、連日多くの親子連れでにぎわっています。☎22-5115  
※午前10時～午後6時(定休日/水曜日・元旦)

## ○学童保育所

共働きなどで学校の放課後子どもをみてくれる人がいない家庭の児童を保育しています。

【日新学童保育所】鳥越999 ☎22-6088

【中央学童保育所】堀端町7-40 ☎23-0600

## ○障害児通園施設「もみの木教室」

心身に障害のある就学前乳幼児の日常生活と集団生活適応の基礎づくりを家庭とともに育むことを目指しています。

※堀端町7-40 中央学童保育所内 ☎22-0600

## ○児童センター・児童館

学校の放課後に児童が自由に遊ぶことができます。3歳以上の幼児を対象として、保護者の委託を受けて小学校児童が来館するまでの時間帯において集団保育も行っています。

【萩野児童センター】萩野2652 ☎25-2005

【本合海児童センター】本合海185 ☎26-2247

【升形児童館】升形797-6 ☎29-2338

## みんなで 楽しみましょう

子育て支援センター  
米屋美津子さん(右)・安食鈴子さん



育児相談や地域での育児講座の開催、子育て情報の提供、育児サークルへの支援などを行っています。また、各地区に出向いて歌遊び・パネルシアターなどを行う「あそびの広場・巡回相談」が好評で、保健センターでは保健師に子どもの健康・食事などについて相談することもできます。

子育て支援センターがある「わらすこ広場」は、親子の遊び場や利用する方の語らいの場としてにぎわっています。一人で悩まないで、育児の相談も気軽にどうぞ。一緒に思い切り遊び、お話しして、上手に育児ストレスを発散しながら子育てを楽しみましょう。

## 子どもと遊びながら 相談できます

「わらすこ広場」を利用している  
八畝 千晶さん・陽人くん



ここに最初に来たのは冬の雪の日でした。屋内の子どもの遊び場はスーパーなどしかなかったの、それからは毎日のように来ています。実家のある東京でも児童館しかないの、改めて「わらすこ広場」の素晴らしさを実感しています。

子育て支援センターの先生が子どもたちに遊び方を教えてくれるし、わたしも人生の先輩にいろいろ話が聞ける。それに、お母さんどうも顔見知りになって、世間話をしながら子育ての悩みを相談し合い、体験談を聞くことで気持ちが落ち着いて気分転換にもなります。子どもも、お友だちや小学生のお兄さん・お姉さんと遊べて楽しそうです。

## 今年5年に一度の国勢調査があります…国勢調査の対象と調査の場所



対 象	調査の場所
(1) 10月1日現在、既に3カ月以上住んでいる人	ふだん住んでいる場所で
(2) 最近移ってきてまだ3カ月になっていないが、10月1日の前後を通じて3カ月以上にわたって住むことになっている人	
(3) 出稼ぎ、旅行、出張などで一時的に自宅を離れている	自宅 出稼ぎ先などで
① 自宅不在が3カ月未満のとき	
② 自宅不在が3カ月以上のとき	
(4) 2カ所に住居を持っている人	寝泊りする日数の多い方で
(5) 病院・療養所などの入院患者	入院先で 自宅
① 3カ月以上入院しているとき	
② 入院してから3カ月にならないとき	
(6) たびたび住居を移す人など、10月1日の前後を通じて3カ月以上にわたって住んでいる所も、住むことになっている所もない人	10月1日現在いる所で

◎詳しくは、政策経営課情報統計室へ。☎内線426

# まちづくり会議

## 意見

七月から八月にかけて、市内七ブロックで「区長と市長のまちづくり会議」を開催しました。昨年からまちづくり会議は、議題を「要望」と「提案」から、「市政への意見」と「地域の課題」に変更し、市全体の将来について話し合うことに重点をおいています。市民のみなさんとのパートナーシップによるまちづくりに向けて、積極的に取り組んでいきます。

### 「市政への意見」から

●新庄まつりの雰囲気盛り上げるため、駅前ふれあい広場アピエスの南・西側を無料開放してはいかがでしょうか。  
(常葉町三区)  
※新庄まつり二五〇年祭を記念して八月二十五日に無料観覧席を設けました。

●市は、協働の考えから公共施設の管理を市民団体に委託していますが、公共心の育成と経費削減が期待されます。「市民が効率良くできることは市民の手で」を徹底し、行政が上手に誘導しながら市民協働の一層の充実を図ってはいかがでしょうか。  
(桧町一区)

●「中の川中流愛護会」が県河川アダプト団体として認定され、南紙漣町・上名古屋敷地区が協力し合つて中の川の河川愛護を受け持つことになりました。下水道の利用普及に地域住民も協力したいと考えています。また、河川の美化には

マナー向上も必要です。物を投げ込まない、看板を設置し通行人にPRする、子どもたちからの教育などが必要と考えます。  
(南紙漣町)

●京都議定書の発効など、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出削減に取り組み、環境を守つていかなければならない時代になりました。市でも「バイオマス資源」の有効活用のため、民・産・学・官連携で研究開発を行っています。ソルガムからできるエタノール混合燃料の「市民モニター制」について、ぜひ、実現できるようにお願いします。  
(玉の木町)

※市は、九月から来年三月までの期間、E3混合燃料の市民モニターを実施しています。

●台所の残さをたい肥として利用してきましたが、今では燃えるごみとして出しています。市内の一部では生ごみをたい肥化事業として回収して利用しているところがあるようですが、たい肥として利用でき

ない家庭では「燃えるごみ」で出すしかありません。「水切りバケツ」の設置を義務づけ、家庭残さの専用紙袋を開発して、そのままたい肥に利用できるような「新庄方式」の生ごみ利用を考えてはいかがでしょうか。  
(春日町)

●わが町内にも少子高齢化が具体的に表れてきています。子どもたちは学校を卒業すると他のまちへ就職してしまいます。新庄で暮らせるよう次のことを提案します。「起業家を育て支援・助成する」「Uターン・転職の常設相談」「小・中・高校で郷土愛を教え実践する」「市営結婚相談所の設立」  
(南末広町)

●新庄工業高校が移転して数年がたちました。県有地である跡地の高度利用を図るよう市重要事業の一つとして県に要望しているのとことです。形には見えませんが、一般の人が広く利用できるような、緑の中を歩いてリハビリや健康づくりに役立てる「健康の森」はいかがでしょうか。  
(三吉町)

### 区長と市長のまちづくり会議の流れ図

各地区の意見・課題の受付

意見・課題について現地確認などを行い担当課の回答をとりまとめる

7つのブロックでまちづくり会議を開催

### 意見・課題の概要

	17年度	16年度
市政への意見	31件	34件
地域の課題	49件	61件
合計	80件	95件



▲まちづくり会議(目新小学校会議室)

# 区長と市長の

## 課題

### 「地域の課題」から

- 私道(生活道路)の排雪経費に補助を (西町)
  - 私道は、申請をいただき除雪を行っています。これは、県内で新庄市だけが行っている事業です(除雪延長/市道Ⅱ約二百km、私道Ⅱ約四十三km)。私道の排雪への補助金制度については、振興計画後期五カ年計画の中で私道除雪のあり方を含めて検討しています。(都市整備課)
- 私道(生活道路)の除雪作業後の舗装修復に指導や資材調達を (川西町二区)
  - 私道の維持補修は市内全域にわたる問題ですが、生活道路の管理はその地域の皆さんに願います。(都市整備課)
- カーブミラーなど交通安全施設の充実を (南紙漣町)
  - 今後も危険個所の把握など地区と協議しながら交通安全を図るため対応していきます。(環境課)
- 他地域の人が町内会のごみステーションにごみ袋を投入していきません。しっかりと指導をお願いします。(末広町一区)
  - ごみステーションの清掃など管理は町内でしていただくようお願いしています。問題のごみステーションには職員が町内の方と一緒に立会い、指導します。(環境課)
- 通学路交差点への交通指導員の増員配置について (末広町二区)
  - 信号機が設置されている場合、原則として交通指導員を配置していません。また、交通指導員のなり手がないという実情もありますが、指導員を配置する場合は、警察機関などと協議し定めています。(環境課)
- 地区内に市指定の雪捨て場があります。冬になるとトラックの往来が多く、ブルドーザーの騒音もひどく、雪解け後の道路も傷みます。できれば指定しないでほしい。(下田町)
  - 雪捨て場は四カ所指定していますが、市街地に隣接した適地がないため今後利用したいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。(都市整備課)
- 融雪・流雪溝などの消雪施設の設置をお願いします。(東山町)
  - 第二次新庄市総合雪対策基本計画の流雪溝整備計画区域ですが、当面は、機械除雪による交通の確保と歩道除雪に万全を期します。(都市整備課)
- 地区内の市道に街路灯の設置を (二ツ屋)
  - 設置の用地と支柱は地区で対応ということでした。了解をいただいております。地区と協議しながら手続きを進めていきます。(環境課)
- ごみステーションが古いので、修繕への補助を (萩野地区全区)
  - ごみステーションは町内会で管理するという原則から、修繕に対する補助金は交付していません。なお、ごみステーションの新規購入については、購入費用の1/2(限定額二万五千円)の補助を行っています。(環境課)

生活環境の整備に関する、新庄市の将来に関するアイデアなどについて市では随時、受け付けし対応しています。

ご意見・要望については、市役所に設置している「投書箱」や「eメール」などでもできます。なお、記名のありました要望などについては、速やかに文書で回答しています。

### まちづくりに関する主な補助制度

- ◆まちづくり推進事業補助金 (政策経営課)
  - 対象/まちづくり活動に必要な設備・備品の整備
- ◆雪に強いまちづくり事業補助金 (都市整備課)
  - 対象/生活道路などの除雪を行うために要する経費、消雪施設の設置、除雪機の購入
- ◆街路灯設置及び街灯料補助金 (環境課)
- ◆リサイクルにこにこ運動奨励金 (環境課)
- ◆子どもの遊び場整備に関する補助金 (社会福祉協議会)
  - 対象/遊具の購入、修繕、原材料の購入など
- ◆生活道路整備費補助金 (都市整備課)
  - 対象/舗装、舗装補修、改良に伴う拡幅・隅切切除、排水施設の改良など



▲まちづくり会議(升形公民館)

## 市民と行政の協働で大きな事業効果を

# 市民活動は公益の担い手です

市民と行政が共通目標に向かって協力し合う「協働」。その形にはさまざまなパターンがあります。六月の広報では、地元町内会が公園管理をしている例を紹介しました。今回は、市民の提案を受けて市民と行政がともに開催した事業を通して、協働のあり方について考えてみます。

### 相互理解が

### 「協働」への第一歩

七月二十四日、せんだい・みやぎNPOセンター代表理事の加藤哲夫氏を講師に、「協働のまちづくり学習会」を開催しました。

その中で、「協働を進めるには行政と市民・NPOとの相互理解が大切」との話がありました。また、市民活動が活発であるかどうかで、まちの活力に差が出てくることなど、もうひとつの公共サービスの担い手としての市民活動の重要性について理解を深めました。

### 協働のルールその1

### 共通目的・目標の設定

この学習会は、協働の重要性を感じていたNPO（特定非営利活動）法人「子育てネットワークバルボンさん」が市に企画提案したのがきっかけでした。市も協働について広く市

民に知ってもらいたいと考え、協力し合つて開催することになりました。

両者の話し合いにより、「市民と行政それぞれが協働への理解を深める」という目標を設定しました。

### 協働のルールその2

### 役割分担

講師の選定・交渉は「バルボンさん」、会場の提供は市と、それぞれ役割を分担。開催の経費は参加費と県の助成金を活用しました。事前ピーアールは、互いに責任を持つため文書は「バルボンさん」と市の連名でお知らせしました。

### 協働のルールその3

### 事業効果の検証

学習会当日は、市民からの参加者と行政関係の参加者がほぼ半々。真剣に聴き入る参加者の姿に共通目標の達成を実感できました。また、アンケートや反省点をもとに次回を生かすため検証を行いました。

今後市は、全事務事業を対象に市民との協働で進めている事業を調査し、その現状と課題を整理します。また、今年度から市民委員による協働事業の評価を行います。

## 協働のまちづくり学習会を開催して

NPO法人「子育てネットワークバルボンさん」  
代表理事・高山恵美子さん

共通課題解決のためには、意思決定の場に市民参加が必要であり、市民も公共システムを学び、信頼できる関係を作り、その中で協働のパートナーの本質を理解して解決を図っていくことが必要です。

特に、「NPO側に行政との協働をチャンスととらえ政策提案していく能力がないと安上がりな外注先と見られる危険があり、市民調査能力（データ）に基づいた市民提案能力が必要とされる」との話には、深く考えさせられるところがありました。

## 公益活動

### 地域みんなで 子育てを

託児サービスきらさら  
(代表・佐藤清美さん)

「託児サービスきらさら」は、県の託児サービス養成講座を修了したメンバーが、子育て支援を目的に有償ボランティアとして平成十四年に発足しました。「あったらいいな」を自分たちができることから実現しようと、一時預かりと各種講演会での託児を始めました。

最初のうちは、託児場所を持たず提供者宅や依頼者宅で託児を行う形のファミリーサポートを行っていましたが、十六年から県の補助を受け、中心商店街に街角託児室「HOT☆ほっとスペース」を開設。買い物や通院などのとき、予約なしでも預けられる託児や、子育てサークルの打ち合わせ、情報発信の場として利用してもらっています。

そのほか、子どもの居場所づくりとして、夏休みには親子で「トライ」ピクニック制作「パネルシアターバージョンの第二弾・七夕編」など楽しい親子講座を開いています。今後の活動予定としては、「父と子の講座」なども企画しています。



# 職場紹介

市役所の仕事

## 商工観光課編

商工観光課は、商工振興室とまつり物産交流室の2室13名体制です(うち、ゆめりあに2名派遣)。

### 【商工振興室】

新庄市の商業・工業の発展に取り組んでいます。企業立地や既存企業の育成強化を図り、産業の振興、雇用の拡大を目指しています。特に企業誘致に力を入れており、今年は、高橋自動車(株)と(株)山形セキノの2社が新庄中核工業団地に進出。横根山工業団地と合わせ進出企業は52社にのぼります。競争による既存企業の技術向上や、雇用の拡大など、地域経済への波及効果は大きいものがあります。

また、商業振興として、新庄TCM(株)、まちづくり団体、商店街などとの調整を図りながら、空き店舗活用など中心商店街の活性化事業を行っています。最近では、NPOや市民団体の企画・運営によるイベントも開催され、にぎわいを取り戻しつつあります。

雇用確保のため、雇用情勢の調査を行い、ハローワークと連携して雇用相談会や、中小企業に対して各制度融資を活用しながら支援を行っています。

### 【まつり物産交流室】

新庄の魅力ある文化と豊かな自然、特産品などを全国に発信し、交流の拡大に努めています。

今年の重点事業は、なんといっても「新庄まつり250年祭」。まつりの運営や山車・囃子若連などへの支援、観覧者の安全確保のための沿道や駅周辺での誘導警備など、市民や観光客の皆さんが存分にまつりを満喫していただけるよう取り組みました。おかげさまで、250年祭は、多くの市民の皆さんとの連携により、かつてない盛り上がりを見せ、大成功に終わりました。

これからも、「新庄まつり」をはじめとする観光資源を全国の方に知っていただくため、効果的なピーアールと交流推進に全力を注いでいきます。

※当面の日程＝○10月1日、2日／山形市ビッグウィング／YBC地上デジタル放送開局記念行事に千門町山車を派遣 ○10月9日／大阪御堂筋パレードに上金沢町の山車を派遣 ○10月16日／酒田市・鶴岡市など／地域伝統芸能全国フェスティバルに休場囃子若連を派遣



▲上金沢町山車



▲千門町山車

## 市民の採点は77点から82点にアップ(100点換算)

昨年に引き続き、7月11日から8月10日までの1カ月間、「お客さまの立場で対応し親しみある市役所づくり」をテーマに、「さわやか運動」を実施しました。

また、市役所や市の施設を訪れた方に「お客さまアンケート」をお願いし、職員の対応について5段階で採点していただきました。(※保育所・児童センター(館)・学校を除く)

### お客さまアンケートの採点結果

設 問	17年度	16年度
職員のあいさつはいかがでしたか?	3.97	3.83
職員のみだしなみはいかがでしたか?	4.10	3.86
職員の言葉づかいはいかがでしたか?	4.25	3.93
職員の説明はわかりやすかったですか?	4.20	3.88
職員の対応の態度はどうでしたか?	4.14	3.88
用件が済むまでの時間はどうでしたか?	4.15	3.81
全体平均	4.12	3.86

(5点満点で採点)

### 親しみある市役所を目指して

市役所・市施設を訪れた「お客さま」の採点は全体平均で4.12点(昨年は3.86点)100点に換算すると82点(昨年は77点)と、各設問でアップしました。

しかし、回答者数の構成比で検証してみると、1点(不満)から2点(やや不満)と感じた方がわずかに減少してはいますが、全体で約6%いました。そうした方々の意見を受け止めて改善していく必要があります。

お客さまの立場に立った迅速な事務処理や説明能力の向上はもちろんですが、対応の基本である「あいさつ」を重点項目とし、お客さまを迎える姿勢を忘れずに「お客さまの立場で対応し親しみある市役所づくり」を目指します。

※詳細はホームページをご覧ください。



わたしたち「きらきら」は、「子育ては決して孤独ではない。地域のみんなが子育てしよう」を合言葉に、人情味あふれる新庄ならではの子育て支援をしていきたいと思っています。転勤してきた方々も安心して育児ができるような地域づくり、楽しい子育て環境づくりのことができたらと思います。

※このコーナーでは、公益(=社会貢献)をめざし活動している市民団体の



新庄まつり二五〇年祭

# 熱く燃えた夏

宝暦の大飢饉から始まり今年二百五十年を迎えた新庄まつり。八月二十四日から二十七日までの、史上初となる四日間の開催におよそ五十四万人の人流。新庄まつりをこよなく愛する人々の心意気が結集。二十七日の記念パレードでまつりは最高潮に達し、新庄まつりの長い歴史に、新たな一ページを刻みました。



平成17年

# 新庄まつり 250年祭



# 第41回 新庄市芸術祭 平成17年9月1日(水)～12月27日(火)

## ～ 技磨き 心<sup>たがや</sup>耕せ 地域文化 ～

9月

September

連句研修わいわい運座会

9月25日(日)/市民プラザ

10月

October

第30回若柳吉須衛舞踊会 10月2日(日)/市民文化会館

新庄書道連盟書道展 10月8日(土)～11日(火)/市民プラザ

観宝合同謡曲大会 10月9日(日)/市民プラザ

新庄華道連盟いけばな展 10月15日(土)～16日(日)/市民プラザ

新庄盆栽愛好会盆栽展 10月15日(土)～17日(月)/ゆめりあ

第29回最上地区吹奏楽祭 10月15日(土)/市民文化会館

第20回みちのく民話まつり「秋語り」

10月15日(土)/旧矢作家住宅

新庄民舞リボンの会「歌と踊りのバラエティーチャリティーショー」

10月16日(日)/市民文化会館

第13回新庄和紙ちぎり絵サークル合同展

10月22日(土)～25日(火)/市民プラザ

第27回新庄地区詩吟祭 10月23日(日)/市民プラザ

第20回芙蓉流踊りのつどい 10月23日(日)/市民文化会館

新庄菊花会菊花展示会 10月27日(木)～11月5日(土)/ゆめりあ  
佐藤洋子バレエスクール第29回バレエ発表会

10月30日(日)/市民文化会館

11月

November

市民音楽祭 11月3日(木)/市民文化会館

新庄吹奏楽団30周年記念演奏会 11月6日(日)/市民文化会館

新庄演劇研究会定期公演

11月19日(土)～20日(日)/市民文化会館

第55回新庄美協公募展 11月19日(土)～24日(木)/市民プラザ

第31回新庄三曲協会演奏会 11月20日(日)/市民プラザ

第40回新庄写真公募展 11月26日(土)～30日(水)/市民プラザ

東北幻野第22回演劇公演 11月27日(日)/市民文化会館

新庄親子劇場「ミュージック・クラウンショー」

11月28日(月)/市民プラザ

12月

December

第15回新庄民踊紫陽花会民舞まつり12月4日(日)/市民文化会館

洋舞合同公演

12月11日(日)/市民文化会館

◎詳しくは、市民文化会館へ。☎22-7029

### まちづくり

#### 平成17年度 コミュニティ助成事業

～宝くじの助成金で整備しました～

この事業は、財団法人自治総合センターが宝くじの普及及広報事業費を財源として、地域のコミュニティ（地域社会）活動に助成を行うものです。17年度は、仁田山地区自治会、桜町町内会、御堀端自治会が助成を受けて事業を実施しました。



##### 【仁田山地区自治会】

- 助成対象 お祭り用品の整備  
(屋外放送設備、保管庫、テント)
- 助成額 170万円



##### 【桜町町内会】

- 助成対象 公民館備品の整備  
(パソコン、視聴覚機材)
- 助成額 100万円



##### 【御堀端自治会】

- 助成対象 お祭り用品の整備  
(発電機、屋外放送設備、照明音響装置、提灯、櫓、テント、半天、掲示板)
- 助成額 190万円

※コミュニティ助成事業を実施したい自治会・町内会などは、市にご相談ください。

◎詳しくは、政策経営課企画政策室へ。☎内線242

### 健康メモ

#### 元気に外出!高齢者の健康づくり

今年の9月19日は敬老の日。いろいろな調査研究などから、毎日外出している高齢者は健康状態が良いといわれています。心と体の機能は、活動的でなくなるにつれて、確実に衰えてまいります。老化や病気などにより心身の基礎体力が落ちている人は外出できなくなり、寝たきりになる可能性が高くなります。閉じこもりは、80歳以上の人の割合が高く、男性の場合は、家庭内の役割喪失や友人・家族を亡くしたことで外出する意欲がわかなくなる人が多く、女性の場合は、病気の後遺症や足腰の衰えなどで外出できなくなるケースが多いようです。

平成14年度に市が実施したアンケートによると、70歳以上では15%の人が月当たり数回以下の外出にとどまっています。「いきいき健康づくり新庄」では、70歳以上の人について、「外出に積極的な態度を持つ人の割合を37.3%から50%に」「何らかの地域活動に取り組んでいる人の割合を20.3%から30%に」増やすことを目標としています。

町内会・老人クラブの催しや趣味サークルに参加する、友人を訪ねる・見舞う、家族・友人などの相談相手になる、若い人に自分から話しかけるなどを心がけてみてはいかがでしょうか。高齢者どうしや家族・地域で声がけし、体調に合わせて外出の機会を増やし、心と体の健康増進を目指しましょう。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

# 御家老の江戸だより

楽しき一緒盛り  
新庄まつりのここがすごい

■新庄藩江戸家老  
松田純一さん(弁護士)

国許くににいと、「日本一の山車と囃子」と言ってもピンと来ないかもしれません。平成九年、江戸大銀座まつり、銀座中央通り六車線を幅いっぱい使って日本橋〜京橋〜銀座を一緒に山車を引って張って練り歩いたときに、黒山の人垣（江戸セレブ大観衆）がみな瞳孔を開き切るほど満面に感動をにじませていたのを見て、まさに新庄まつりが日本一と実感しました。

海、滝まで一緒盛り。このスタイルは二五十年前にはほぼ確立されてきたというのだから仰天するばかりです。

子どもが町方と在方の合作を引張るといって「全員参加型」も出色。ハッピもそれぞれ趣向をこらして活気にあふれています。特に今年のけんか囃子はたくさんの鉦かねに支えられて勇壮でした。けんかというくらいだから昔は相手の音をかき消すほど音量を上げて、すれ違すれちがいざまには笛や足で小突き合あって演奏不能に陥らせるくらいのことではしていたと想像するのですが、今では迫力ある上品な輪唱のようです。



節感を超えて、桜、牡丹、紅葉が同時に彩りに競っています。山、

山車の題名の前につく「風流」とは、時空を超えて山車を作るという意味だそうです。まさに自由闊達（ちやうたくたつ）。鏡獅子や菅原伝授手習鑑のような歌舞伎ものあり、大河ドラマの名場面あり、中国ものあり。動物にこだわる町内もあれば、神様まで登場。今年の七福神は大きかったなあ。飾りはといえば、季

岐阜高山はじめ日本を代表する山車は、歴史的風格こそありますが、神社仏閣そのものが移動している感じで、自由な創造性には欠けます。江戸を代表する三社まつりのような神輿型まつりは、参加者はサラシを巻いた青年男子が中心で、全員参加とまでは言えませんが、この意味でも、新庄まつりは日本一、楽しきが一緒盛りのまつりです。万々歳！

いきいき  
新庄人

## 独創性を大切にしたい

齋藤みさきさん(川西町)

「中学生のときに革でペンケースを作ったことがレザークラフトとの出会いです」と語る齋藤さんは、革細工と手作りにこだわり続けて23年。県卓越技能者にも選ばれたお父さんと2人で「手づくり革細工 父・娘二人展」を開催しています(10月30日まで/雪の里情報館)。

「高校時代に家業のかばん屋を継ごうと日本で唯一の革細工の学校に進みました。そこでは革細工のことだけでなく、デザイン・絵・建築など美術の基礎をひとつとおり習い、卒業後1年間講師として勤めて新庄に帰ってきました。わたしが得意なのは、アメリカンレザークラフトという、牛革に“アカンサス”の花をモチーフに自分なりにアレンジして刻印し、手縫いで財布やバッグを作り上げる手法です。また、革細工の面白さを知ってもらおうと、以前は高校の授業で教えたり、2年くらい前からは、駅通りの語らい長屋で月2回講習会を開いています。

わたしはお客さんから注文された商品のほかに、自分の独創性を生かした革細工でオリジナル商品も作っています。作品をみんなから見てもらいたいと思い、語らい

長屋の他の出店者と一緒にゴールデンウィークに山形市内のデパートが企画した「わたしの手作りショップ」に出店しました。やはり、いろいろな人から自分の技術を見てもらうことは、とても励みになりました。

最近（最近）は手作りのものが見直され、アメリカンレザークラフトも流行（流行）ってきているので、お客さんから注文をもらうことも多くなりましたが、手作りなので時間がかかってしまいます。ただ、いくら時間がかかってもいいに作ることを心がけていますので、納期が間に合わず徹夜することもあります。お客さんの喜ぶ顔やわたしの商品を気に入ってまた来てくれたときは本当にうれしくやっています。

そして、なにより師匠でもある父から仕立ての技術や革の扱いなどわからないことを聞きながらできることは、とても幸せなことだと思います。まねできないようなオリジナル商品を作り、革細工と手縫いの技術はだれにも負けないという信念で、父と二人でがんばります」と語る齋藤さんの笑顔には、良いものを作りたいという熱意が感じられます。



# 聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲100歳のお祝いに市長から賀詞と祝い金を贈呈（8月30日）



▲碑文を揮ごうした太田進さん（左）と草木塔を寄贈した小松さん（8月4日／鳥越八幡公園）



▲安全のまち新庄市民大会で幼稚園児がアピール（8月5日／ゆめりあ）



▲世界最大規模の実験装置で雪を体験（8月5日／長岡雪氷防災研究所新庄支所）



▲市民盆踊り大会（8月10日／歴史センター広場）



▲平和都市宣言旗を掲揚した新庄南高3年の川田愛子さん、2年の柿崎裕樹さんと伊東一成さん（8月15日／市役所前）

## 長寿100歳のお祝い

長南ハナさんが満100歳を迎え、市長から「これからも元気に長生きしてください」と賀詞とお祝いが贈られました。明治38年生まれで長南さんは、若いころから元気に農業を営みながら7人の子どもを育てました。大らかな人柄で甘いものや餅が好物。平成9年に制定された長寿祝いを受けた方は、長南さんで15人目となりました。

## 公園に草木塔を建立

昨年、全国の公園整備功労者に贈られる「折下賞」を受賞した小松正男さん（若葉町）が、鳥越八幡公園に草木塔を寄贈されました。小松さんは25年間市職員として一貫して土木分野に携わり、最上公園などの整備に尽力。平成12年には東山公園に、15年には最上公園に草木塔を建立。草木に感謝の気持ちを表わしています。市長から感謝状を受け取った小松さんは「草木塔めぐりなどをして公園に親しんでいただき、自然保護について考えるきっかけになれば」と話していました。

## 真夏に雪を体験

防災科学技術研究所・長岡雪氷防災研究所新庄支所の一般公開が行われ、多くの市民が真夏の雪を楽しみました。この日の最高気温は35.3℃、大型低温実験室内はマイナス10℃。あまりの涼しさと降り積もる雪に訪れた子どもたちは大はしゃぎ。ダイヤモンドダストを作り出す実験や過冷却水を一瞬で凍らせる実験にも、子どもたちは目を輝かせていました。

## 恒久平和を願って

世界の恒久平和を願い昭和59年に制定した新庄市平和都市宣言。平和都市宣言推進会議の主催で加盟22団体の代表と今年は新庄南高生3人も参加して宣言旗を掲揚し、平和への祈りを捧げました。



## 真夏の成人式

新成人の新たな出発を祝おうと成人式を開催しました。今年の対象者は市内に住所をおく人と市内の中学校を卒業した新成人507人。代表の高山恵子さんに合わせ全員で市民憲章を唱和。市長あいさつ、来賓からのお祝いの言葉に続き、成人代表の菅原心平さんから「成人といってもまだまだ未熟。これからもっと自分を磨いていきたい」と抱負が述べられました。



▲新成人が抱負を新たにした成人式(8月14日/市民プラザ)

## みんなで力を合わせて

ボランティアグループ「杣蔵山荘にエコトイレを設置する会」がボランティアを募り、前杣蔵(標高950m)にある杣蔵山荘脇で建設作業を開始しました。作業は、テレビ塔のある三角山から1.2キロ離れた山荘までの木材運搬と基礎造り。市内の高校山岳部や山荘会員、一般希望者など50人が参加しました。9月中に建物を建設し完成させる予定です。



▲市民ボランティアが広く参加を呼びかけエコトイレを建設(7月30日/杣蔵山)

## 栄光をたたえて

- 第45回県中学校総合体育大会  
【バドミントン】男子/団体③新庄/個人シングルス③高橋雅樹(新庄)女子/個人シングルス③松田直子(日新)【柔道】男子/個人60キログラム②叶内雄大(明倫)90キログラム超級③荒澤圭(新庄)
- 全国中学生空手道選手権大会県予選会  
男子/形/団体①日新B③日新A/個人①土田秀成(明倫)③大泉泰士(日新)組手/団体①日新A③日新B/個人②伊藤真太郎(日新)③荒川雅哉(日新)女子/形/団体①日新/個人①佐々木梓(明倫)②海藤佳奈(新庄)組手/団体②日新/個人①海藤佳奈(新庄)②大場美紀(日新)③荒川聡実(日新)
- 第59回全国高等学校ボクシング選手権大会  
モスキート級③柏倉圭吾(新庄神室産業)
- 第59回東北高等学校ボクシング選手権大会  
モスキート級①柏倉圭吾(新庄神室産業)ライトフライ級②柳谷久志(新庄神室産業)ミドル級①石川哲也(新庄神室産業)
- 環境省自然保護局長表彰 菅原富喜



▲国道13号新庄北道路の着工を祝った起工式(7月31日/飛田地区)



▲おはなし夏まつり(8月6日/雪の里情報館)



▲新庄まつり250年祭に向け新庄商工会議所建設部会がモニュメントを設置(8月20日/駅前広場)



▲新庄まつり250年祭を記念して巨大タペストリーも展示した新庄南高書道展(8月10日~28日/ゆめりあ)



# ら・せ

イベントや行政案内など  
まちの情報を紹介するページです

## 秋の交通安全県民運動

9月21日(水)～30日(金)

◎山形県交通安全対策協議会

### 募集

「体育の日」を  
楽しみませんか

#### 2005新庄いもがらマン

- ▼とき 10月10日(月)
- ▼ところ 農村環境改善センター周辺(山屋)
- ▼コース A(7キロ)⇨中学生以上、B(3キロ)⇨小学生以下
- ▼小学生3年生以下は父兄と参加費大人1,000円、高校生以下500円(幼児は無料)

#### 市民体力テスト

- ▼対象 小学3年生～成人の男女(約200人)
- ▼とき 10月10日(月)
- ▼ところ 市体育館
- ▼内容 体調チェックと運動能力テスト

力テスト

▼参加費 無料(傷害保険未加入者は保険料100円)  
※いずれも申し込みは9月30日(金)まで

#### 体育施設定期使用の調整

- ▼利用期間 11月～3月分
- ▼申し込み 9月30日(金)まで
- ▼使用施設 ことの調整会議 体育館⇨10月5日(水)、武道館⇨10月6日(木)、市民球場⇨10月7日(金)の午後6時から体育館役員室で
- ▼問い合わせ 22-0681

#### すぼーていあ定期使用の申し込みと調整会議

- ▼利用期間 11月～3月分
- ▼申し込み 9月30日(金)まで
- ▼調整会議 10月11日(火)午後6時～すぼーていあ会議室
- ▼都市整備課整備管理室 ☎内線525・526

#### 第7回最上地域市町村親善ゴルフ大会

- ▼対象 新庄(最上地区)在住の人ならどなたでも
- ▼とき 10月16日(日)
- ▼ところ 県民ゴルフ場(舟形町)
- ▼参加費 2,000円
- ▼プレー料 一般8,930円、65歳以上7,170円、70歳以上6,870円
- ▼申し込み 10月7日(金)まで
- ▼主催 最上地方町村会
- ▼政策経営課 ☎内線241

#### 全国障害者芸術・文化祭やまがた大会

- ▼対象 障害のある個人、障害者を含むグループなど
- ▼内容 美術、文芸、舞台芸術
- ▼応募期間 10月10日(月)必着
- ▼福祉事務所高齢障害支援室 ☎内線548

### 市民プラザ利用者懇談会

- 対象 個人・団体どなたでも
- とき 9月26日(月)午後7時～8時30分
- ところ 市民プラザ小ホール
- 内容 市民活動交流ひろば「ぶらっと」の新設、市民プラザまつり(新規)の開催、市民プラザの利用全般について
- ※市民団体・NPOなどに活動支援するための場市民活動交流ひろば「ぶらっと」がもうすぐオープンします。(10月中旬予定)

### かえよう子育て!女と男の意識

- ～男女共同参画県民講座～
- とき 10月2日(日)午後1時～3時30分
- ところ 市民プラザ小ホール
- 講師 舟山やすえさん
- 申し込み 9月26日(月)まで(当日参加可)
- ※入場無料、無料託児もあります。(要予約)
- いずれも詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

### 第29回 市民雪セミナー

- 「雪国に地震がおきたら」
- ～雪国総合研究所・山形学地域連携講座～
- とき 10月15日(土)午後1時30分～3時
- ところ 雪の里情報館雪国文化ホール
- 講師 長岡雪氷防災研究所所長・佐藤篤司氏
- 受講料 500円(山形学地域連携講座受講料)
- 詳しくは、雪の里情報館へ。 ☎22-7891

### 第5回 芭蕉乗船の地国際俳句大会

- とき 10月2日(日)受付午前9時30分～
- ところ 芭蕉乗船の地(本合海)ほか
- 日程 吟行会(午前10時45分～)、金子兜太氏・黛まどか氏トークショー(午後1時～)、表彰式(午後3時～)
- ※吟行への参加は締め切っています。
- ◎詳しくは、芭蕉乗船の地国際俳句大会事務局へ。 ☎26-2118

### 新庄藩ゆかりの茶会

- とき 10月2日(日)午前10時～午後3時
- ところ 東山陶瓶庵(東山焼地内)
- 茶券 1,000円(抹茶2席/当日可)
- ◎詳しくは、涌井宗有社中へ。 ☎22-3122

#### 新庄コンピュータ専門学校から

#### 自然観光ガイド養成講座

- ▼とき 10月4日(火)～18日(月)14日(火)のうち座学6時間⇨午後6時～9時・実地24時間⇨午前8時～午後5時
- ▼内容 最上の地域資源、接遇、デジカメ、山岳技術など
- ▼講師 大場満郎氏ほか
- ▼受講料 無料(保険・交通費別途)
- ▼夜間パソコン講座
- ▼コースワード入門、エクセル入門
- ▼とき 10月3日(月)～31日(月)の月・水・金曜日午後6時30分～9時(各6回)
- ▼受講料 各12,000円(テキスト代別途)
- ※いずれも定員20人、事前に申し込みが必要です。
- ▼新庄コンピュータ専門学校 ☎29-2121

#### 第21回市民囲碁大会

- ▼クラス A⇨5段以上、B⇨2段～3段、C⇨初段以下、D⇨小・中・高校生
- ▼とき 9月18日(日)午前9時受付開始
- ▼ところ 市民プラザ
- ▼参加費 1,000円(昼食付)
- ▼申し込み 当日会場
- ▼日本棋院新庄支部・渡辺 ☎22-4815

#### 健美操サークル

- ▼とき 毎週水曜日午前10時30分～正午(月3回)
- ▼ところ 市民プラザ
- ▼内容 東洋と西洋の動きをミックスした体操でリラックス
- ▼会費 月2,500円
- ▼健美操サークル・大竹 ☎23-2069





住宅リフォームのトラブル相談窓口

○県すまい情報センター ☎023-647-0780  
○県消費生活センター ☎023-624-0999  
◎最上総合支庁建築課 ☎28-7760

# 9月のお・知

催し  
など

## 西田夫妻・二人のライフワーク展

- とき 9月27日(火)～10月3日(月)  
午前9時～午後6時(3日は午後4時まで)
- ところ 市民プラザ2階ギャラリー
- ところ 西田千賀子「心に残る花と実」植物画展 & 西田幹夫「船頭唄流れる巨樹の森から」写真展

◎詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

## 高齢者手づくり作品展

- とき 10月2日(日)午後1時～4日(火)午後3時
- ところ 市民プラザ大ホール

◎詳しくは、新庄市老人クラブ連合会へ。 ☎23-4613

## 出張無料税務相談

- とき 9月30日(金)午前10時～午後3時
- ところ 市役所西庁舎市民相談室分室
- 内容 所得税、相続税などの国税
- 対応 仙台国税局税務相談室酒田分室

◎詳しくは、税務課課税室へ。 ☎内線142

## 法の日記念無料法律・行政相談

- とき 10月3日(月)午前10時～午後3時
- ところ 市民文化会館
- 対応 法律相談／最北弁護士会、行政相談／行政相談委員

◎直接会場へどうぞ、詳しくは、市民課市民相談室へ。 ☎内線125

## 無料司法書士法律相談会

- とき 10月1日(土)午後1時～4時
- ところ 市民文化会館
- 内容 多重債務、訴訟、架空請求などの消費者被害、不動産、成年後見制度
- 電話での相談 023-635-8151(午前10時～午後4時) ●対応 県司法書士会

◎詳しくは、県司法書士会へ。 ☎023-623-7054

## なんでも電話相談会

- とき 10月2日(日)午前10時～午後8時
- 内容 年金、解雇・賃金不払・サービス残業・セクハラ・労災など
- 対応 社会保険労務士
- フリーダイヤル 0120-664-214(無料)

◎詳しくは、県社会保険労務士会へ。 ☎023-631-2959

お知らせ

## 市長選挙および市議会議員補欠選挙

- ▼告示日(届出受付) 11月6日(日) ▼投票日 11月13日(日)
- ▼立候補予定者および出納責任者事務事前説明会 10月17日(月)午前10時～ / 市民プラザ小ホール

問 市選挙管理委員会事務局  
☎内線420・421

## 心の健康づくりセミナー

- 【第1回】▼とき 10月7日(金)午後1時30分～4時30分
- ▼内容 「うつ病の基礎知識」

「家族がうつになった時」

問 県建築士会女性部委員会  
☎0234-238018

【第2回】▼とき 11月1日(火)午後2時～3時30分

- ▼内容 「心の健康づくりと自殺予防を考える」
- ※いずれも ▼ところ 最上総合支庁講堂 ▼申し込み 9月30日(金)まで

問 最上保健所地域保健予防課  
☎22-5634

## 女性建築士と学び景観講座

- ▼対象 どなたでも
- ▼とき 10月8日(土)午後1時30分～3時30分
- ▼ところ すばーていあ

▼内容 「景観から考えるまちづくり、建物づくり」講師 / 東京大学教授・堀繁氏  
※直接会場へどうぞ  
問 山形財務事務所管財課  
☎023-641-5176

## 国有地の売却

- ▼物件 宅地 / 新庄市大字松本字向野550-16外1筆(1781.13㎡) ▼入札 10月中旬予定(詳細は9月下旬ホームページなどで公表<http://www.nof.tohoku.go.jp/yamagata/>)

問 下水道課業務普及室  
☎23-5100

## 排水設備工事責任技術者試験

- ▼とき 11月20日(日)午後1時～3時 ▼ところ 新庄神室産業高校 ▼申し込み 9月20日(火)～10月14日(金)

※希望者を対象に10月21日に受験講習会を開催します。  
問 下水道課業務普及室

## 介護保険サービスの利用者負担が変わります

10月1日から施設サービスの部屋代と食事代が全額自己負担となります。対象は、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養施設の入所やショートステイです。市民税非課税世帯に対しては所得の状況に応じて補足的給付が行われ、その差額を自己負担することになります。この給付を受けるには「認定の申請」が必要です。該当すると思われる場合は、担当のケアマネージャーに相談してください。また、デイサービスでも食事代が全額自

己負担となります。さらに、いくつかの社会福祉法人が行っていた低所得者への利用料減免制度は、1/2軽減から原則1/4へと縮小されます。また、適用となるための所得、貯蓄、資産など要件が大きく変更されました。利用している事業所が社会福祉法人の場合は減免制度を実施しているか確認し、ケアマネージャーに相談してください。◎詳しくは、福祉事務所高齢障害支援室へ。 ☎内線550・551

## 麻しん・風しん予防接種が18年4月1日から変わります

予防接種法の改正により、麻しん風しん混合ワクチンを1歳で1回、5歳から6歳で再度受ける方式になります。麻しんと風しんの予防接種を受けていないお子さんは、18年3月31日までに委託医療機関で受けましょう。18年4月1日以降は、麻し

ん・風しん単独予防接種は任意接種(全額自己負担)になります。  
○対象年齢 満1歳～7歳6カ月(18年3月31日現在) ○負担金 各1,200円  
◎詳しくは、健康課健康推進室へ。 ☎内線514・516

# 「将来を見ずえた人づくり」

市は、中学校区ごとに、特色ある教育活動や地域に開かれた学校づくりを推進する「学校のつばさ支援事業」に取り組んでいます。今回は、日新中学校区で、小・中学校が連携しながら地域の人たちとともに教育を実践している様子を紹介します。

## つばさコンサート

日新中学校区では、日新中、日新小、角沢小の三校合同音楽発表会を「つばさコンサート」と名づけ、平成十五年度から開催しています。三校での日ごろの音楽・文化活動の成果を、地域や保護者の人たちに発表する貴重な機会となっています。

日新中からは吹奏楽部、日新小からは太鼓クラブと合唱部を中心とした発表、角沢小からは全校児童で取り組んでいる「御神楽」の発表が行われました。日新小学校舎の円形広場が発表の舞台として準備され、たくさんの笑顔が集う温かいコンサートになりました。第一回のコンサートには、二百人を越える地域の人たちが集まりました。このコンサートが、今後ますますにぎやかなものになっていくことで、各学校の教育活動とともに、地域が活性化していくことが期待されます。

## つばさボランティア活動

ボランティア活動は、十四年度に学区内の一斉奉仕活動としてスタート。保護者や地域の協力により、主に通学路のごみ拾いや公園・神社などの清掃活動に取り組んできました。

しかし、学区内の一斉活動は日程調整が難しく、昨年度からは、学校ごとの奉仕活動やボランティア学習に移行しました。その結果、活動日は違っても、それぞれの学校の特色や子どもたちの状況に合わせて工夫され、より質の高い活動を展開することができました。今後、地域と一体となった環境美化活動が、子どもたちの手によって受け継がれていくことが望まれます。

## 日新学区教育講演会

地域の人たちに生涯学習の機会を提供するとともに、学校教育に



▲昨年の「つばさコンサート」

対する関心を高めていくことを目的に毎年開催しています。

昨年度は、新庄市出身の書道家濱崎道子氏を迎え、「書道家として生きて」と題した講演会を開催しました。大書道家として、世界を駆けめぐり活躍される濱崎さんの生き方や心情を、生の声で語っていただきました。地域の人たちや保護者だけでなく、子どもたちも参加して、大きな刺激を受けた様子でした。

このような講演会を通して、学区民としての共通の思いや話題が一つでも二つでも増えていくことが期待されます。そのためにも、参加者が増え、内容が豊かになるよう、内容や開催の仕方について検討していくことが今後の課題となります。（教育委員会）

### 新庄の歴史

## こぼれ話

谷崎潤一郎は新庄まつりを  
見たのだろうか

新庄が舞台になった文学作品として、藤沢周平の「上意改まる」や山本周五郎の「野分」などがある。どちらも江戸時代の話で、前者は戸沢家のお家騒動・片岡騒動を素材としたもので、後者は、三代藩主・正庸（1771-1824）をモデルにしたと思われる小説である。

時代は下り、明治期の谷崎潤一郎の作品にも、新庄が描かれている。このことは、従来、あまり知られていなかったのではないかとと思われるが、昨年、阿部親也氏（北町）が出版された『新庄』最上 文学ゆかりの原風景の中で紹介された。

その作品は、明治四十四年二月号『新思潮』に掲載された「彷徨」であるが、残念なことに「未完」の作品である（谷崎潤一郎全集 第一巻に収録してある）。

母親が新庄出身で、古口生まれの主人公・猪瀬が、青年になり、久しぶりに新庄まつりを見る場面では、山車行列そのものの描写はないがまつりの時の街の様子や、人々の姿が描かれている。そ

～図書館はオアシス～

# BOOKS NOW!

今月のおすすめ

## 『もったいない じいさん』

今井 美沙子 著

消費が文化のパロメーターのように思われた時代も、環境に優しい生活がさかんに言われ出した時も、少しも変わることなく、「もったいない」を口癖に、「捨てない、買わない」主義を創意工夫でつらぬいた夫の父との暮らし。反発も、尊敬もした、泣き笑いの33年間で作家である著者が万感の想いでつづる。



### ● 今月のテーマ展示 ●

## 『音楽・楽器』

喜びにつけ、悲しみにつけ、わたしたちのまわりにはいつも音楽があります。誰にでも、音楽にささえられ乗り越えてきた日々があるのではないのでしょうか。

今月は、音楽・楽器に関する本を展示します。

### 新着図書

- ◆ ゆうれいとなきむし……………せな けいこ
- ◆ まんまるねこダイナ……………西村 香英
- ◆ ルフランルフラン……………荒井 良二
- ◆ 生命の樹 —チャールズ・ダーウィンの生涯— ……ピーター・シス
- ◆ 浄土の帝……………安部龍太郎
- ◆ おとうさんはウルトラマン／お父さんの育自書 ……宮西 達也
- ◆ 東京DOLL……………石田 衣良
- ◆ きもの文様図鑑 —明治大正昭和に見る— ……長崎 巖
- ◆ あらいざらい本の話……………出久根達郎
- ◆ 土の中の子供……………中村 文則
- ◆ 花まんま……………朱川 湊人
- ◆ 妖怪大戦争……………荒俣 宏
- ◆ 心はいつも育ちざかり……………清川 妙
- ◆ 「おくのほそ道」出羽路の旅……………梅津 保一
- ◆ 幸田文のマッチ箱……………村松 友視
- ◆ 魂の切影……………森村 誠一
- ◆ 「終戦日記」を読む……………野坂 昭如
- ◆ 七人の弁慶……………森 詠
- ◆ 子どもの世話にならずに死ぬ方法……………俵 萌子
- ◆ 恋愛の毛沢東 —あとの祭り—……………渡辺 淳一
- ◆ 美人の日本語……………山下 景子
- ◆ 情夫……………藤堂志津子
- ◆ 海国記 —平家の時代—(上・下)……………服部 真澄
- ◆ 新聞記者夏目漱石……………牧村健一郎
- ◆ 後ろ向きで歩こう……………大道 珠貴
- ◆ 白衣を脱いだらみな奇人 —あるドクターの本音と本当—……………平盛 勝彦
- ◆ 曹操残夢 —魏の曹一族—……………陳 舜臣
- ◆ 第二列の男……………藤沢 周
- ◆ ぼく、あいにくきたよ……………児嶋 サコ

●開館時間 午前10時～午後6時  
●休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

## 学校給食を見つめ直す

～市学校給食検討委員会～

食をめぐる環境が変化してきている中、子どもたちに食の大切さを教える「食育」の重要性が高まっています。そこで今回、望ましい学校給食のあり方を検討し将来像を展望しようと、公募による委員五人を含めた、PTA、小中学校長、教師、栄養士十二人からなる学校給食検討委員会を発足しました。

現在、小学校では各学校で給食を作り、中学校では牛乳給食で各自弁当を持参しています。第一回目の検討委員会では、今後の課題として、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の育成を図るための食指導や、学校給食のあり

方、中学校給食の実施方法などを検討していくことが事務局より説明されました。

出席した委員からは、「地区のアンケート結果では中学校給食の実現を望む声が多い」「給食を生きた教材として授業している」「弁当の意義もある」「中学校給食ありきではなく、食生活の乱れや地産地消など食育の重要性も議論すべきである」「作り手の見えない給食では食べ残しが出るのでは」「郷土料理や地産地消の推進が必要」など広範囲にわたる意見が交わられました。子どもたちが朝食をとらないで学校に行くことが、情緒不安定

や集中力を欠く要因の一つといわれています。学校給食を含めた食育のあり方を真剣に考える必要があります。

これから、委員会では二カ月ごとに会議を開き、十八年度中に報告書を取りまとめ教育長に報告する予定です。



▲地産地消給食(昭和小)

れによれば、当時は芸妓が踊る踊屋台が道端に設置されていたこともうかがえる。「おオ」という芸妓のいる「梅川」という料亭も出てくるが、万場町界隈の料亭であろっか。

最後の部分には、猪瀬とおオが、明け方の新庄城址・天満宮境内で語り合う場面が描かれているが、そこから見える風景は、「土族屋敷」「避病院」「鳥海山」など、まさしくその場所に立った人しかわからないものである。

谷崎潤一郎は、新庄を訪ね、新庄まつりを見たのであろっか。ちょうど今、専修大学の山口教授がそれを精力的に調査されている。新しい史実が発見されるかもしれない。(市史編さん室)

# まつりを支える人々

～新庄まつり250年祭シリーズ～

二五〇年祭 夏終わるの図



上茶屋町の柿崎さん。今年も間もなく、ミニ山車作りを始めるのだろうか…。初めて人形どろしが触れている大正町の山車。鶴となって飛び立つ娘に追いつる姿は、ゆく夏を追いかけようとする姿であらうか。

作る人、演じる人、観る人。大勢の人々が支え、感動的な盛り上がりで幕を閉じた、新庄まつり二五〇年祭。

夏、終わる…。

(絵と文〓加藤良哉)

最終日、宵まつりの帰路、清水川町山車と出会う。舵棒係、白髪の木村さん。笑顔がなんと輝いていたことか。

山片町の路地までお礼引きする若連の姿勢に頭が下がると同時に、哀愁の中に目頭が熱くなるのを抑えることができなかった。



250年祭を記念して街なかで披露された鹿子踊 (8月27日)

見・所・探・訪

## 萩野・仁田山鹿子踊

～県指定無形民俗文化財(昭和41年指定)～

萩野と仁田山の両地区に伝わる鹿子踊。その起源は、昔、村人が小倉山に遊ぶカモシカの群れを見て真似て踊ったところ、その年は例年のない豊作に恵まれたので毎年踊るようになったとか、奈良時代のころ、遠征してきた大野東人を陣中慰労するため村人が動物の姿で踊ったのが初めとかの言い伝えがある。他の鹿子踊と同じく先祖供養の踊りであり、豊作祈願の踊りであるともいわれ、例年、両集落の祭りの日と8月26日の新庄まつりのときに踊られる。

7

月末現在の新庄人

40,979人(41,369人)

女	21,338人 (21,548人)
男	19,641人 (19,821人)
世帯数	13,462世帯 (13,498世帯)
7月の異動	
出生	24人 ( 30人)
死亡	33人 ( 35人)
転入	87人 ( 88人)
転出	88人 ( 89人)

※( )は1年前の住民基本台帳

表紙の写真

## 新庄まつりの歴史に新たな1ページ

～新庄まつり250年祭～

いよいよ迎えた250年祭。古式ゆかしい神輿渡御行列に続いて、ひとさわ見ごたえのある絢爛豪華な各山車。昔を再現して市街地で踊られた鹿子踊。そして、クライマックスを飾る記念パレードでの威勢くらべ、復活“けんか囃子”。街じゅうが歓声と拍手喝采に包まれました。

